

建設第 423号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

豊後大野市長 芦 刈 幸 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で提出依頼のありました標記の
件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大分県豊後大野市

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

●高齢化する道路ストックに対応した道路管理

- ・市内には橋梁734箇所、トンネル42箇所あるがほとんどが老朽化しており維持工事が必要となっている。また、市道路面は簡易舗装で整備して20年以上経過したものが多く路面補修が緊急の課題となっておりストック総合整備事業等の新設を望む

●安全で安心できる暮らしの実現

- ・生活道路について、人優先の歩行空間の整備(通学路等の歩道設置)

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

●既存ストックの徹底的な利活用

- ・既存の維持改修工事(部分改良も含む)に対する補助事業の新設が必要 出来るだけ既存道路を取り込んだ路線計画をして事業費の抑制を図る

●コストの徹底的な縮減と管理

- ・契約方法の改善 地元の協力(用地)目的に合った道路計画

3. その他の道路政策や道路の整備管理

●説明責任の向上とスケジュール管理

- ・事業効果を出すために整備目標を設定 地元説明の徹底

●道路整備、管理の費用負担のあり方

- ・協働の道づくりが必要 道路維持費用に対する補助制度の創設

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②—1 地域の現状と抱える課題

大分県豊後大野市

○現状

- 交通網の発達や生活スタイルの変化により、市民の生活行動圏域が広域化する中、通勤や通学、流通や地域間交流における広域アクセスの利便性向上が求められている。
- 広域的な基幹道路は国道5路線、県道23路線あり、それぞれ整備が進められていますが、部分的に幅員が狭いなどの改良が求められている。
- 合併後、市民の日常生活を支え、中心部と各町の生活拠点を結ぶ主要道路について道路整備が求められている。

○課題

- 合併後、中心部と各町の生活拠点を結ぶ主要道路の整備
- 本市の市道は幅員が狭くカーブが急など改良すべき路線が多い
- 都市計画道路など幹線道路と組み合わせた利便性の高い道路網の整備
- 既存道路の補修など維持管理が重要
- 歩道の整備改修や道路のバリアフリー化も含めた生活者や利用者の視点に立った道路整備

1. やすらぎを実感する人と自然にやさしいまち
2. 充実を体感するたくましいまち
 - ①人々の生活とまちの発展を支える基盤が整っているまち
 - 交通・情報などの生活基盤が整備され、通勤・通学、買い物などの日常生活が便利で快適になっている
 - ・中九州横断道、国道や県道などの幹線道路網が整備され、都市間交流や産業・経済活動の活性化につながる道路ネットワークが充実している
 - ・市内循環道路や身近な生活道路の改修、拡幅などの整備を図る
 - ・バリアフリー・ユニバーサルデザインに基づくまちづくりを進める
 - ・地域情報ネットワーク基盤やICTの利活用の向上を図る
 - 中心市街地の都市機能と各地域の拠点機能が充実し、まちに賑わいがある
 - ②産業が発展し、活気に満ちているまち
 - ③交流と賑わいがありいきいきとしているまち
3. きずなを共感するとともに築くまち

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

大分県豊後大野市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上		・今後の高齢化社会では生活基盤道路の改善が必要であることや、地域間交流の必要性の観点などから地方の生活基幹道路ネットワークの整備が必要である。	